

科目区分	専門分野	授業科目	母性看護学概論
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	2単位(30時間)	開講年次	1年次
目的：母性の健康の保持・増進を目指した看護を実践するための基礎的知識を習得する。 目標：1 母性看護を必要とする対象の特性を理解し、母性看護の課題や役割を理解できる。 2 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状について理解できる。 3 ライフサイクル各期における母性の健康および健康問題と健康の保持増進に向けた看護を理解できる。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 母性看護の基盤となる概念	6	1 母性看護の基盤となる概念 1) 母性とは (1) 母性の定義 (2) 親になることの発達心理学的な意味 (3) 親になることの社会文化的な意味 2) 母性の身体的特性 3) 母性の心理・社会的特性 2 母子関係と家族発達 1) 愛着・母子相互作用と母子関係形成 2) 家族機能と家族の発達課題 (1) 家族の発達課題 (2) 父子関係形成 (3) 母性・父性と親性 3 セクシュアリティ 1) セクシュアリティとは 2) 性の多様性 (1) 性同一性障害 (2) 性分化疾患 (3) LGBT 4 リプロダクティブヘルス/ライツ 1) リプロダクティブヘルス/ライツとは 2) 女性とリプロダクティブヘルス/ライツの課題 5 母性看護のあり方 1) 母性看護の理念 2) 母性看護の基盤となる概念 (1) 女性を中心としたケア (2) 家族を中心としたケア (3) ウェルネス (4) エンパワーメント (5) ヘルスプロモーションとは (6) セルフケア 3) 母性看護の課題と展望 6 母性看護における倫理 1) 生命倫理と看護倫理 2) 看護における倫理的意思決定	

		3) 倫理的課題の実際 (1) 人工妊娠中絶 (2) 生殖補助医療 (3) 出生前診断
2 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状	6	1 母性看護の動向と現状 1) 母子保健統計の動向と母子を取り巻く環境 (1) 出生・死亡・人工妊娠中絶に関する統計 (2) 周産期医療システム 母体搬送・新生児搬送・チーム医療・周産期医療ネットワーク 2) 母性看護に関する法律 (1) 母子保健法 (2) 母体保護法 (3) 戸籍法 (4) 死産の届けに関する規定 3) 母子保健に関する施策 (1) 母子保健施策 (2) 出産・育児にかかわる経済的支援 (3) 妊娠・出産包括支援事業 (4) 健やか親子21 (5) 障害を通じた女性の健康支援 4) 母性看護の場と職種
3 女性のライフステージ各期における看護	10	1 女性のライフサイクルにおける健康の必要性 2 女性のライフステージ各期における対象の特徴と看護 1) 思春期 (1) 身体・心理社会的特徴 (2) 健康問題と看護 ① 月経異常 ② 若年妊娠 ③ 人工妊娠中絶 ④ 性感染症 ⑤ 思春期女性への看護の視点 2) 成熟期 (1) 身体・心理社会的特徴 (2) 健康問題と看護 ① 月経困難症 ② 子宮筋腫 ③ 子宮内膜症 ④ 乳がん ⑤ 子宮頸がん ⑥ 不妊症 ⑦ 成熟期女性への看護の視点 3) 更年期・老年期 (1) 身体・心理社会的特徴 (2) 健康問題と看護 ① 更年期障害 ② 尿失禁 ③ 骨粗鬆症

		④ 更年期うつ ⑤ 子宮体がん ⑥ 子宮脱・下垂 ⑦ 更年期・老年期女性への看護の視点
4 リプロダクティブヘルスに関する支援	7	1 性暴力を受けた女性に対する看護 1) 性暴力と社会 2) 性暴力被害の実態と社会の対応 3) 性暴力を受けた女性への支援 2 児童虐待と看護 1) 児童虐待の実態 2) 児童虐待の対策 3) 児童虐待の予防 4) より早期からの予防に向けて 3 国際化社会と看護 1) 母子保健の国際化 2) 在日外国人の母子保健 4 災害時の妊産婦と家族への支援 1) 災害時の母子支援の課題 5 不妊症と看護
	1	試験
評価方法	筆記試験、レポート	
テキスト	医学書院 母性看護学〔1〕 母性看護学概論	
参考資料	必要に応じて適宜紹介する。	
履修上の留意事項	予習・復習をして授業に臨むこと。 グループワークは積極的な参加姿勢で臨むこと。 提出物は、提出日時を厳守すること。	
備考		